

令和5年度における構成員の取組状況 (報告)

令和5年度における構成員の取組状況（報告）

【資料1－3】令和5年度における構成員の取組状況（報告）
構成員より令和5年度における精力的な取組、先進的な取組を報告。

協議会	自治体	事例	内容
多摩川上流部	八王子市	水路等監視情報システムの本稼働	令和5年4月に雨量予測、河川水位、浸水リスクを一元管理する情報システムを本稼働した。市民がパソコンやスマートフォンにより、地図、市内の水位・雨量、警報・注意報を確認することができることにより避難開始の判断に活用することができる。
	青梅市	青梅市・第九消防方面合同 土砂災害水防訓練の実施	東京消防庁第九消防方面と合同で、台風を想定した土砂災害・水災に関する訓練を行った。 消防団、警視庁、東京都建設局、自衛隊、青梅建設業協会、自主防災組織に参加していただき、水防工法訓練、道路啓開訓練、土砂災害救助訓練等を実施した。
	日野市	市職員向け土のう研修を実施	出水期に備えて、災害現場の対応にあたる職員に対して土のう作成や水防工法等の研修を実施した。
	羽村市	地域住民による洪水に関する防災研修・防災訓練の実施	多摩川周辺の3町内会が合同して、洪水に対する防災研修・防災訓練を実施した。 合わせて、タイムラインに関する出前講座（羽村市職員が説明）を実施した。
	東京都建設局	水防災情報の発信強化	令和元年東日本台風を契機に河川の状況を分かり易くリアルタイムに伝えるため、河川監視カメラ等観測機器の設置拡大を推進した。令和5年度は23箇所増設した。
		排水ポンプ車の実地訓練について	東京都職員及び水防管理団体職員等による排水ポンプ車の操作習熟、連携強化を目的として、排水ポンプ車の実地訓練を実施した。

令和5年度における構成員の取組状況（報告）

【資料1－3】令和5年度における構成員の取組状況（報告）
構成員より令和5年度における精力的な取組、先進的な取組を報告。

協議会	自治体	事例	内容
多摩川下流 部左岸	調布市	要配慮者を対象とした避難訓練の実施	令和元年台風第19号での避難行動について、市が行ったアンケートで明らかになった高齢者などの避難行動の課題を踏まえ、台風などの大雨による災害時に自力で避難所に避難するのが困難な多摩川浸水想定区域の要配慮者を対象に、避難所まで移送するための避難バスでの移送及び避難所受入れ訓練を実施した。
	国立市	マイ・タイムラインの作成授業	浸水想定区域内の小学校で、マイ・タイムラインの作成授業を実施した。
	狛江市	総合水防訓練を実施	令和元年東日本台風を想定した災害対策本部訓練、4箇所の避難所の開設・運営訓練、消防団による洪水時の排水樋管対応訓練を実施した。
	品川区	災害対策本部図上訓練（風水害・震災）の実施	品川区災害対策本部の災害対応力の強化を図るため、風水害、震災対応の図上訓練を行った。

【資料1－3】令和5年度における構成員の取組状況（報告）
構成員より令和5年度における精力的な取組、先進的な取組を報告。

協議会	自治体	事例	内容
多摩川下流 部右岸鶴見 川	神奈川県	県内の小学校等を対象としたマイ・タイムラインのリーフレット配布	マイ・タイムラインのリーフレットについて、一般向けと小学生向けの2種類を作成。 小学生向けリーフレットでは、平易な言葉を使うとともに漢字にふりがなを振るなど、よりわかりやすい内容とし、県内の小学校等へ配布することで、積極的にマイ・タイムラインの普及啓発を図った。
相模川	平塚市	小学生への洪水ハザードマップの啓発	災害対策本部室への見学受け入れを実施し、小学生向けの防災講話を行った。各学区周辺の洪水ハザードマップを確認し、災害リスクを説明した。
	茅ヶ崎市	避難確保計画の作成義務がある施設を所管する関係課かいに対して説明会や進捗状況の照会を実施	水防法第15条第1項の規定に基づき、避難確保計画の作成及び避難訓練の実施が義務づけられている施設に対して、計画の作成や避難訓練の実施について説明会や進捗状況の照会を実施した。

【八王子市の主な取組】

2) ソフト対策の主な取組 ■ 情報伝達、避難計画等に関する取組

① 住民の避難行動、迅速な水防活動を支援するための水位計やライブカメラのリアルタイムの情報提供



水路等監視情報システムの本稼働

【取組概要】

令和5年4月に雨量予測、河川水位、浸水リスクを一元管理する情報システムを本稼働した。

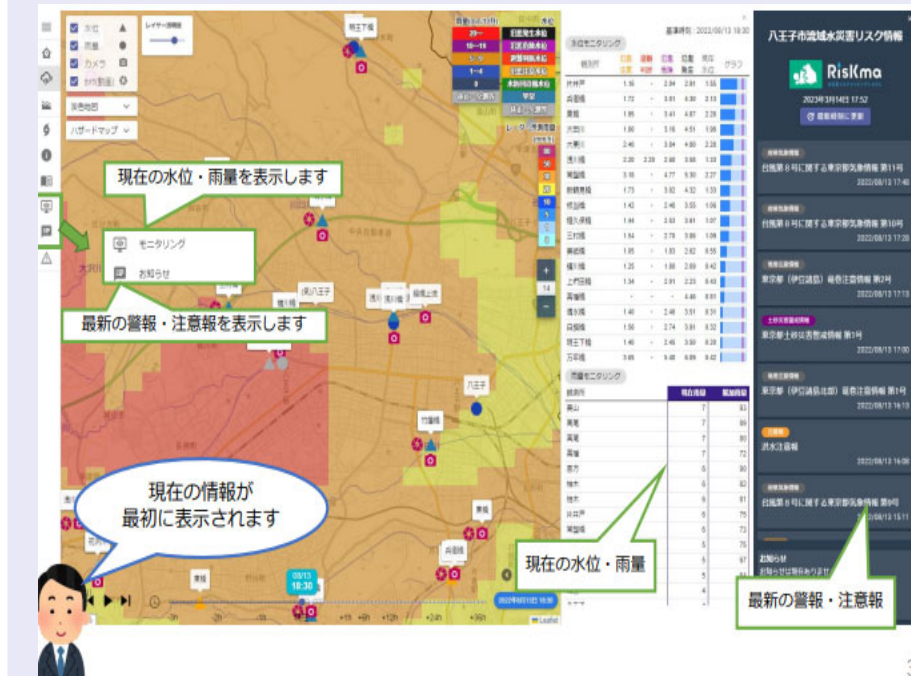
【取組効果】

市民がパソコンやスマートフォンにより、地図、市内の水位・雨量、警報・注意報を確認することができることにより避難開始の判断に活用することができる。

【取組内容、写真等】

現在の八王子市の地図、市内の水位・雨量、警報・注意報等の情報が表示される。

予想降雨や、河川カメラの観測状況の確認もできる。



【青梅市の主な取組】

2)ソフト対策の主な取組 ■水防活動の効率化及び水防体制の強化に向けた取組

④関係機関が連携した水防訓練の実施

青梅市・第九消防方面合同 土砂災害水防訓練の実施

【取組概要】

東京消防庁第九消防方面と合同で、台風を想定した土砂災害・水災に関する訓練を行った。消防団、警視庁、東京都建設局、自衛隊、青梅建設業協会、自主防災組織に参加していただき、水防工法訓練、道路啓開訓練、土砂災害救助訓練等を実施した。

【取組効果】

事前の打合せから訓練まで、各関係機関と顔の見える関係を築くことができた。また、それぞれの機関が有する機材等に関することや、役割等について再確認し、連携強化を図ることができた。

【取組内容、写真等】



- ①自主防災組織(防災士)による簡易水防工法
- ②消防団・各消防署が連携した水防工法
- ③市と建設業協会等が連携した道路啓開
- ④第九消防方面本部が有する強力吸引車を活用した土砂災害救助

【今後の予定】

今後も引き続き、関係機関と連携した土砂災害・水災に関する訓練を実施する。また、更なる市民の防災力向上を図るため、関係機関との連携訓練と合わせて、体験型訓練や各種防災知識・情報の発信を積極的に実施していく。

【日野市の主な取組】

2)ソフト対策の主な取組 ■防災教育や防災知識の普及

②水防災意識社会の再構築のための説明会・講習会の開催

市職員向け土のう研修を実施

【取組概要】

出水期に備えて、災害現場の対応にあたる職員に対して土のう作成や水防工法等の研修を実施した。

【取組効果】

土のう作成の経験が乏しい職員を対象に、現場対応技術の向上を図るとともに、出水期に向けた現場対応の意識付けを行うことができた。

【取組内容、写真等】

- ・河川氾濫についての概要説明
- ・土嚢作成講習
- ・水防工法紹介
- ・土嚢の積み方講習



【今後の予定】

来年度も出水期前に同様の研修を実施予定。

【羽村市の主な取組】

2)ソフト対策の主な取組 ■防災教育や防災知識の普及 ⑤出前講座等の講習会の実施

地域住民による洪水に関する防災研修・防災訓練の実施

【取組概要】

多摩川周辺の3町内会が合同して、洪水に対する防災研修・防災訓練を実施した。

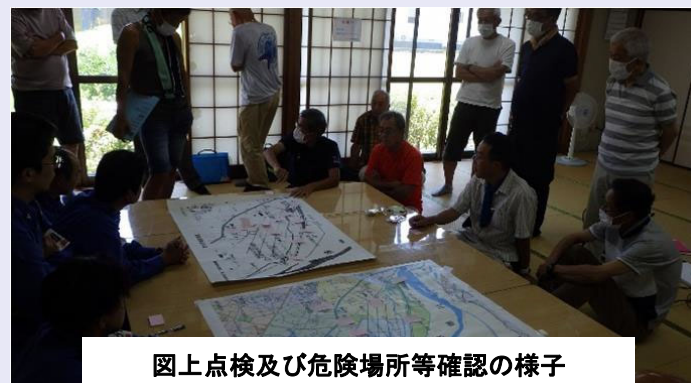
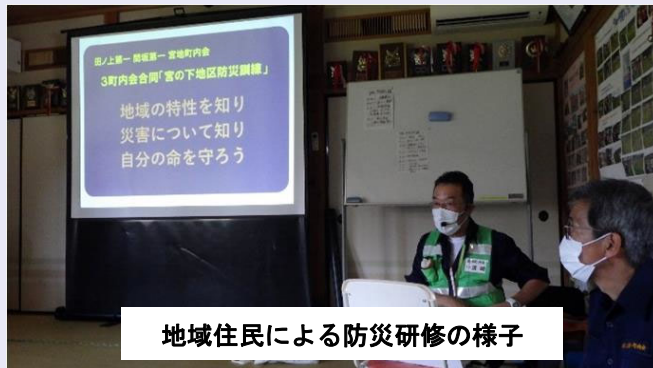
合わせて、タイムラインに関する出前講座(羽村市職員が説明)を実施した。

◆実施日:令和5年7月30日(日)

【取組効果】

地域のリーダー(防災士)が主導することで、地域内の連携力が高まった。

また、水害時のタイムラインの使い方の習得につながった。



【今後の予定】

今後も地域住民を中心とした洪水に対する研修や訓練を実施していただき、地域住民の防災意識の向上と、地域と行政が連携した取り組みを確立していく。

【東京都建設局の主な取組】

2)ソフト対策の主な取組 ■情報伝達、避難計画等に関する取組

①住民の避難行動、迅速な水防活動を支援するための水位計やライブカメラのリアルタイムの情報提供



水防災情報の発信強化

【取組概要】

■河川監視カメラの設置拡大

【取組効果】

住民の避難行動に繋がる水防災情報の発信・充実。

【取組内容、写真等】

■河川監視カメラの設置拡大

- 令和元年東日本台風を契機に河川の状況を分かり易くリアルタイムに伝えるため、河川監視カメラ等観測機器の設置拡大を推進
- 令和5年度は23箇所増設し、合計で150箇所程度の映像を公開予定
- ※東京都水防災総合情報システム、東京都水防チャンネル(YouTube)で公開中
- 今後も、順次公開数を拡大予定

【YouTube 東京都水防チャンネル】



▲QRコード
(東京都水防チャンネル)



▲QRコード
(東京都水防災総合情報システム)

【今後の予定】

水防災情報発信の更なる強化に向け、河川監視カメラなど観測機器の設置拡大等を行う。

【東京都建設局の主な取組】

2)ソフト対策の主な取組 ■水防活動の効率化及び水防体制の強化に向けた取組

④関係機関が連携した水防訓練の実施

排水ポンプ車の実地訓練について

【取組概要】

■東京都職員及び水防管理団体職員等による排水ポンプ車の操作習熟、連携強化

【取組効果】

区市町村との連携を強化し、水害時における円滑かつ迅速な水防活動を図るための取組。

【取組内容、写真等】

操作訓練

(水防管理団体職員及び消防職員が参加)



東京都における排水作業準備計画

(配置訓練、走行訓練、図上訓練)



配置訓練



図上訓練



走行訓練

【今後の予定】

- ◆ 排水ポンプ車を有する事務所毎に操作訓練を実施予定
- ◆ 水防管理団体に操作訓練への参加を依頼し、合同で訓練を実施予定
- ◆ 引き続き「東京都における排水作業準備計画」を踏まえた訓練を実施予定

【調布市の主な取組】

2)ソフト対策の主な取組 ■逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

⑩要配慮者・外国人等への対応等を考慮した避難計画の検討および避難訓練の実施



要配慮者を対象とした避難訓練の実施

【取組概要】

令和元年台風第19号での避難行動について、市が行ったアンケートで明らかになった高齢者などの避難行動の課題を踏まえ、台風などの大雨による災害時に自力で避難所に避難するのが困難な多摩川浸水想定区域の要配慮者を対象に、避難所まで移送するための避難バスでの移送及び避難所受入れ訓練を実施した。

【取組効果】

風水害時に要配慮者用バスが運行し、避難所での受け入れができるよう担当職員の動きを確認することができた。また、住民や要配慮者の参加型訓練のため、本取組の住民周知につながった。

【取組内容、写真等】

拠点施設に場所が到着



拠点施設での受け入れの様子



【今後の予定】

引き続き訓練を実施し実災害時に対応できるように精度を上げていく。

【国立市の主な取組】

2)ソフト対策の主な取組 ■防災教育や防災知識の普及

④小学生を対象とした水防災教育の実施

マイ・タイムラインの作成授業

【取組概要】

浸水想定区域内の小学校で、マイ・タイムラインの作成授業を実施した。

【取組効果】

この授業の約1か月前には、学校全体で地震を想定した防災訓練を実施しており、防災意識が高まっている状態であったため、災害が起こった場合の自分の避難行動について、より深く考えてもらうことができた。

【取組内容、写真等】

①防災マップ、洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップを活用し、自宅、学校周辺の危険個所等を確認する。

②河川氾濫時の対応の仕方を確認する。

③東京マイ・タイムライン(小学校4～6年生用)を活用し、マイ・タイムラインを作成する。



【今後の予定】

今後も小学生を対象とした水防災教育を実施する。

【狛江市の主な取組】

- 2) ソフト対策の主な取組 ■ 情報伝達、避難計画等に関する取組
③ タイムラインに基づく首長・地域住民等も参加した実践的な訓練の実施

総合水防訓練を実施

【取組概要】

1 災害対策本部訓練 東日本台風と同規模の台風の接近に伴い、多摩川の水位が上昇してきたとの災害想定とし、次の訓練を重点として実施した。

- ・災害対策本部会議に合わせ情報収集及び情報整理を行う災対本部分室を主体とした訓練を実施
- ・各関係機関からのリエゾンも訓練に参加し、災対本部分室と連携した情報収集及び資料化、情報連絡訓練を実施
- ・災害医療について、災害医療コーディネーターとの連携及び具体的役割の構築

2 避難所開設・運営訓練 4か所の避難所を開設して市民の避難訓練を実施。水害時における検温・問診～受付～案内の動きを訓練した。各避難所では、関係機関による体験・展示を展開し、参加促進を図った。

3 排水樋管対応訓練 洪水時の排水樋管操作訓練、消防団による排水ポンプ車運用訓練を実施した。

【取組効果】

災対本部分室の動き、リエゾンとの連携、災害医療コーディネーターとの対応を協議する訓練を実施することで、課題や改善点の整理、総合的な水害への対応力向上につながった。

【取組内容、写真等】



【今後の予定】

今後も効果的な訓練を検討・実施していく。

【品川区の主な取組】

2)ソフト対策の主な取り組み ■水防活動の効率化及び水防体制の強化に向けた取組

④関係機関が連携した水防訓練の実施



災害対策本部図上訓練(風水害・震災)の実施

【取組概要】

品川区災害対策本部の災害対応力の強化を図るため、風水害、震災対応の図上訓練を行った。

【取組効果】

区職員の災害対応能力の向上、関係機関との連携要領の確認ができた。

【取組内容、写真等】

訓練では、長期的な災害対応を見据えて、発災3日後、7日後を想定したシミュレーション訓練や、区長への報告要領を確認する災害対策本部会議審議訓練を実施した。



【今後の予定】

各訓練結果から課題を抽出し、検討結果を災害対策本部体制、各種計画・マニュアルに反映させ、風水害、震災への災害対応能力の向上を図っていく。

【神奈川県的主要な取組】

2)ソフト対策の主要な取組 ■情報伝達、避難計画等に関する取組

⑪マイ・タイムラインの取組推進



県内の小学校等を対象としたマイ・タイムラインのリーフレット配布

【取組概要】

マイ・タイムラインのリーフレットについて、一般向けと小学生向けの2種類を作成。

小学生向けリーフレットでは、平易な言葉を使うとともに漢字にふりがなを振るなど、よりわかりやすい内容とし、県内の小学校等へ配布することで、積極的にマイ・タイムラインの普及啓発を図った。

【取組効果】

マイ・タイムラインの目的や作成方法等の普及啓発により、防災行動に関する知識の向上やマイ・タイムラインの作成促進が期待できるとともに、次世代を担う子供たちの防災意識の向上が図られた。

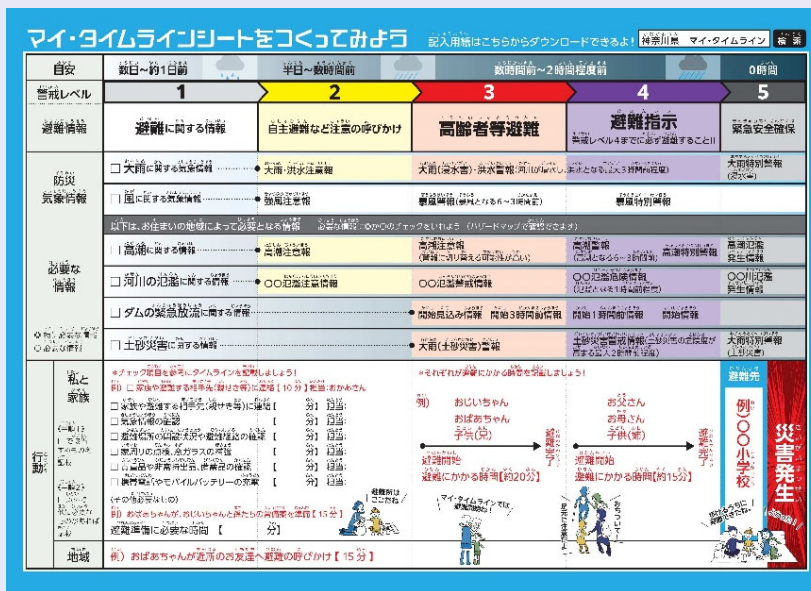
【取組内容、写真等】

R5配布実績

561校 284,500部



<小学生向けリーフレット:オモテ面>



<小学生向けリーフレット:ウラ面>

【今後の予定】

更なるマイ・タイムラインの普及啓発・作成促進や、防災意識の向上を図るため、引き続き、小学校等へのリーフレット配布を実施する。

神奈川 マイ・タイムライン 検索

【平塚市の主な取組】

2)ソフト対策の主な取組 ■防災教育や防災知識の普及

④小学生を対象とした水防災教育の実施

小学生への洪水ハザードマップの啓発

【取組概要】

災害対策本部室への見学受け入れを実施し、小学生向けの防災講話を行った。各学区周辺の洪水ハザードマップを確認し、災害リスクを説明した。

【取組効果】

11学校、合計児童数820人に実施し、多くの人に啓発を行うことができた。

【取組内容、写真等】

災害対策本部室見学の様子



【今後の予定】

今後も実施予定。

【茅ヶ崎市の主な取組】

2)ソフト対策の主な取組 ■情報伝達、避難計画等に関する取組

⑩要配慮者利用施設への対応等を考慮した避難計画の作成および避難訓練の実施

水防法に基づく避難確保計画の作成及び避難訓練の実施

【取組概要】

水防法第15条第1項の規定に基づき、避難確保計画の作成及び避難訓練の実施が義務づけられている施設に対して、計画の作成や避難訓練の実施について適切な進捗管理を行う取組

【取組効果】

洪水についての避難確保計画については、作成義務のある全ての施設から提出がなされた。また、令和4年2月作成の地域防災計画から新たに対象となった高潮についての避難確保計画についても約半数の施設から提出がされるなどの成果があった。

【取組内容】

避難確保計画作成義務がある施設を所管する関係課かいに対し定期的な説明会を実施した。
合わせて、避難確保計画の作成実施状況や避難訓練の実施状況について適宜照会を行い、施設の所管課が避難確保計画作成義務がある施設に対し、定期的に施設に対して照会を行う体制の構築を行った。また、避難訓練の実施報告書のひな形(右図)を作成し、HPに掲載するなどした。

訓練実施結果報告書			
実施日時	年 月 日	時 分 から	時 分 まで
実施場所 (報告する〇にチェックする。)	☐ 洪水 ☐ 土砂災害 ☐ 高潮		
	☐ その他の災害 ()		
訓練種類・内容 (報告する〇にチェックする。)	☐ 机上訓練	☐ 簡易避難訓練	
	☐ 避難経路の確認訓練	☐ 水中避難(北道す避難)訓練	
	☐ 避難要領訓練	☐ 持ち出し品の確認訓練	
	☐ その他 ()		
	(訓練内容を訓練目的に記載)		
訓練参加者 参加人数	職員(全員、一部)		名
	施設利用者(全員、一部)		名
	その他訓練参加者		名
訓練事項 (担当者記入)	☐ 避難要領に準じた人数		名
	☐ 避難に準じた時間		時間 分
訓練結果 (担当者記入)	訓練によって確認された事項		
	その他(担当者記入)		
報告者	氏名	連絡先	

【今後の予定】

令和6年度以降については、高潮についての避難確保計画の作成義務がある施設の全てから、避難確保計画を提出していただくこと及び避難確保計画に基づく避難訓練の実施及び報告が実施できるように、令和5年度に引き続き、施設所管課に対しての進捗管理を実施していく。